

Table with 4 columns: Item, Name, Remarks, and Description. Section 1: Work Summary. Includes items like Air conditioning, Heating, Cooling, etc.

Table with 2 columns: Item and Remarks. Section 1: Equipment Common Matters. Includes piping materials, types, and testing procedures.

Table with 2 columns: Item and Remarks. Section 3: Installation. Includes details on piping, ducts, and fire prevention measures.

Table with 2 columns: Item and Remarks. Section 6: Maintenance. Includes fire zone maintenance, support, and vibration measures.

Table with 4 columns: Item, Name, Remarks, and Description. Section 5: Stainless Steel Piping. Section 6: Piping Installation. Section 7: Joint Inspection. Section 8: Piping Washing. Section 2: Maintenance.

Table with 2 columns: Item and Remarks. Section 2: Ducts. Section 3: Machinery. Section 4: Refrigeration Piping. Section 6: Piping Adhesives.

Table with 2 columns: Item and Remarks. Section 11: Total Commissioning. Section 12: Installation Work. Section 13: Civil Work. Section 14: Earthwork. Section 15: Concrete Work.

Table with 2 columns: Item and Remarks. Section 16: Equipment Usage. Section: Air Conditioning Equipment. Includes tables for equipment specifications and air conditioning details.

○ 暖房設備	
項目	特記事項
▶ 1. エネルギー源	○ 重油 ○ 灯油 ○ ガス (都市ガスの場合 ○ 低圧 ○ 中圧) ○ 電気 ○ その他 ()
▶ 2. 暖房方式	○ 蒸気 ○ 湯水 ○ 温風 ○ 電気 ○ 遠赤外線 ○ 放射 ○ その他 ()
▶ 3. 主要熱源機器及び付属機器	図内機器表による 容量等の表示、機器類の能力、容量等 (電動機出力は除く) は、原則として表示された数値以上とする
▶ 4. ばい煙濃度計	○ 設けない ○ 設ける
▶ 5. 煤じん量測定口	○ 設けない ○ 設ける
▶ 6. 放熱器等	○ 設ける (煙道直線部に100φ以上のフランジ蓋止とする) 種別 ○ 鋼鉄製放熱器 ○ パネルヒーター ○ ファンコイルユニット ○ ヒートポンプユニット ○ ファンコンベクター ○ ユニットヒーター ○ パッケージエアコン ○ F F暖房機 ○ 電気ヒーター ○ 遠赤外線暖房機 ○ コンベクター ○ ペースボードヒーター ○ 床暖房 (○ 温水 ○ 電気) ○ ロードヒーティング (○ 温水 ○ 電気) ○ その他 ()

● 冷房設備	
項目	特記事項
▶ 1. エネルギー源	○ 重油 ○ ガス (都市ガスの場合 ○ 低圧 ○ 中圧) ● 電気 ○ その他 ()
▶ 2. 冷房方式	● 冷媒 ○ 冷水 ○ その他 ()
▶ 3. 主要熱源機器及び付属機器	図内機器表による 容量等の表示、機器類の能力、容量等 (電動機出力は除く) は、原則として表示された数値以上とする
▶ 4. ばい煙濃度計	○ 設けない ○ 設ける
▶ 5. 煤じん量測定口	○ 設けない ○ 設ける
▶ 6. 放熱器等	○ 設ける (煙道直線部に100φ以上のフランジ蓋止とする) 種別 ○ ファンコイルユニット ○ ヒートポンプユニット ● パッケージエアコン ○ その他 ()

● 換気設備	
項目	特記事項
▶ 1. 換気方式	● 中央式 ○ 局所式 ● 1種 ○ 2種 ○ 3種
▶ 2. 主要換気設備	○ ユニット型空調換気 ○ 熱交換形換気扇 ○ ダクト式機械換気 ○ 換気扇 ○ その他 ()
▶ 3. 制御方式	イ、熱交換換気扇 給気ファン停止 ○ 無 * 0℃ ○ 5℃ ○ 10℃
▶ 4. 換気扇スイッチ	○ 別途工事 ○ 本工事 ○ 図示による

○ 排煙設備	
項目	特記事項
▶ 1. 排煙方式	方式 ○ 機械排煙 ○ その他 ()
▶ 2. 排煙口	イ、形状 ○ スリット形 ○ スイング形 ロ、開放位置 ○ 手動 ○ 手動及び遠隔操作可能なもの イ、復帰方式 ○ 遠隔式 ○ 手動式 ロ、操作方式 ○ 電気 ○ その他 ()
▶ 3. 防煙ダンパー	

○ 給油設備	
項目	特記事項
▶ 1. 給油方式	○ 個別給油方式 ○ 集中給油方式 ○ その他 ()
▶ 2. 地下オイルタンク	イ、基礎杭 ○ 要 ○ 不要 ○ 本工事 ○ 別途工事 ロ、タンク室 ○ 要 ○ 不要 ○ 本工事 ○ 別途工事 ハ、山留め施工 ○ 有り (工法:) ○ 無し 「危険物の規制に関する技術上の基準の細目を定める告示」によるほか所轄消防署が承認したもの
▶ 3. 地上オイルタンク	基礎 ○ 本工事 ○ 別途工事 ○ 屋外タンク ○ 屋内タンク ○ 市販品 ○ 製作 (板厚 mm) 「危険物の規制に関する技術上の基準の細目を定める告示」によるほか所轄消防署が承認したもの
▶ 4. オイルサービスタンク	イ、給油ポンプ ○ 設ける ○ 設けない ロ、返油ポンプ ○ 設ける ○ 設けない
▶ 5. 遠隔式油量指示計	○ 設けない ○ 次に設ける a) 取付方法 ○ 専用蓋 ○ 油槽蓋内 ○ その他 () b) 指示ユニット、製造者標準型とし図示による
▶ 6. 集中給油設備計装工事区分	* 集中検針盤からレベラーまでの計装配管配線は本工事
▶ 7. 集中給油設備計装試験調整工事区分	○ その他 ()
▶ 8. その他	○ ()

● 給湯設備	
項目	特記事項
▶ 1. 給湯方式	● 給湯ポイラー (● 単独 ○ 暖房併設) ○ 熱交換器 ○ 貯湯タンク ○ ガス湯沸器 ○ 貯湯式 ○ 瞬間式 ○ 別途(入品対応) ○ 電気湯沸器 (○ 貯湯式 ○ 瞬間式) ○ その他 ()

● 衛生器具	
項目	特記事項
▶ 1. 衛生器具及び付属機器	図内器具表による

○ 消火設備	
項目	特記事項
▶ 1. 用途区分	消防法施行令別表第1による区分 () ○ イ ○ ロ ○ ハ ○ ニ)
▶ 2. 消火方式	○ 連結送水管 ○ 屋外消火栓 ○ 屋内消火栓 ○ スプリンクラー ○ 連結放水 ○ 不活性ガス ○ 泡消火 ○ 粉末消火 ○ フード等簡易消火 ○ 消火器 ○ 共同住宅用スプリンクラー設備 ○ その他 () ○ H B-1 (○ A ○ B ○ 易操作性 ○ 消火器併設) ○ H B-4 (○ A ○ B ○ 広範囲形 ○ 消火器併設) ○ その他 () ○ 揚水加圧 (火災報知器と連動) ○ その他 ()
▶ 3. 壁内消火栓箱	図内機器表によるほか日本消防設備安全センターの認定証表が貼付されたもの 制御盤には火報起動リレー駆込スペースを設けること
▶ 4. 消火ポンプユニット	

○ ガス設備	
項目	特記事項
▶ 1. 種類	○ 都市ガス ○ 液化石油ガス (○ ボイラ供給 ○ 炉供給) ○ その他 ()
▶ 2. 機器	図内機器表による
▶ 3. 施工	○ 都市ガス………ガス事業者の責任施工とする ○ 液化石油ガス………標準仕様書第6編第3章による ○ その他ガス………高圧ガス保安法の規定に基づく
▶ 4. ガス漏れ警報器	○ 有 ○ 無 ○ 別途リース品対応

▶ 5. ガス漏れ警報器計装工事区分	都市ガスの場合 * 警報器用基台(基台共)からガスメーターまでの配管配線は本工事 ○ その他 () 液化石油ガスの場合 * 警報器用コネクタ(別途)からガスメーターまでの配管配線は本工事 ○ その他 ()
--------------------	---

○ 厨房機器	
項目	特記事項
▶ 1. 厨房機器	図内機器表による 機器表に記載のない事項は、標準仕様書第5編第1章第6節による

○	
項目	特記事項

○ 環境配慮改修工事	
項目	特記事項
▶ 1. アスベストの処理工事	建材のアスベスト含有調査は、次による なお含有調査の結果、設計図書と異なる場合は、工事監督員と協議する ○ 含有調査: _____ 事務所 (調査部位: _____) ○ 含有調査済: 含有建材等は、図面による 分析方法は、JIS A1401「建材製品中のアスベスト含有率測定法」とする 処理工法 (9.1.1) * 除去工事 (公共建築改修工事標準仕様書及び以下による) 施工調査 * 行う ○ 行わない (9.1.2 9.1.3) 施工範囲: 図示 アスベスト粉じん濃度測定 * 行う ○ 行わない (9.1.2) (1) 作業主任者 アスベスト含有建材の除去は、石綿作業主任者技能講習又は、平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を修了した者のうちから、アスベスト作業主任者を選任し、必要な管理を行わせる (2) 除去作業者 アスベスト含有建材の除去に従事する作業者(以下「除去作業者」という)は、石綿障害予防規則に基づき特別教育を受けた者とする また、除去作業者は、一般健康診断、石綿健康診断、じん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常がない者とする (3) 表示及び標示 施工範囲の出入口に、「アスベスト作業主任者名と職務の内容、関係者以外立入禁止、喫煙・飲食の禁止、アスベスト作業中等」の表示を行う
▶ 2. 除去工事共通事項	

○ 自動制御設備	
項目	特記事項
▶ 1. 制御方式	○ 電気式 ○ 電子式 ○ デジタル式
▶ 2. 計測範囲	○ 湿度 ○ 湿度 ○ その他 ()
▶ 3. 計測箇所	図示による
▶ 4. 計測機器	図内機器表による
▶ 5. 低圧屋内配線	標準仕様書(第4編 第1章第5節及び第2章第3節)による

● 給水設備	
項目	特記事項
▶ 1. 給水方式	○ 水道直結直圧方式 ○ 水道直結増圧方式 ● ポンプ送水方式 (● 上水 ○ 井水) ○ 高置タンク方式 (○ 上水 ○ 井水)
▶ 2. 屋外給水引き込み管	既設配水管 (○ 分水新設 ○ 既設分水以降接続) 既設敷地内給水引き込み管 (○ 分水新設 ○ 既設分水以降接続) 配水管新設 (○ 負担金 ○ 専用 ○ 布設管)
▶ 3. 量水器	○ 借入品 ○ 新品購入 (水道管理者指定品)
▶ 4. 量水器弁	○ 水道管理者指定品 ○ 図内規格品
▶ 5. 量水器集中検針盤	* 集中検針盤から量水器までの計装配管配線は本工事
▶ 6. 量水器集中検針盤試験調整工事区分	○ その他 ()
▶ 7. 受水タンク	イ、上水用 () ○ 本工事 ○ 別途工事 ロ、井水用 () ○ 本工事 ○ 別途工事 ハ、制御方法 フロートレススイッチ ポールタップ・定水位調整弁 その他 ()
▶ 8. 給水装置	ニ、警報 ○ 満水 ○ 減水 ○ 低水位遮断 ○ 故障 イ、給水ポンプ ○ 揚水用ポンプ ○ 床置型 ○ 水中型 ○ 水道用増圧加圧形ポンプユニット ○ 小形給水ポンプユニット ○ 床置型 ○ 水中型 ○ 吐出し圧力一定制御 ○ 末端圧力推定制御 ○ その他 () ロ、圧力タンク ○ 自動空気補給式 ○ 隔膜式 ○ その他 () ハ、高置タンク ○ FRP製 () ○ その他 () ○ その他 () ニ、制御方法 ○ フロートレススイッチ ○ 圧カスイッチ ○ その他 () ホ、警報 ○ 満水 ○ 減水 ○ 低水位遮断 ○ 故障

▶ 9. その他	○ ()
----------	-------

● 排水設備	
項目	特記事項
▶ 1. 排水方式	● 自然流下 ○ 強制排水
▶ 2. 排水溝及び蓋	イ、インバート溝 ○ コパイノ樹 ○ 角型 ○ 丸型 ○ 市販コンクリート管 ○ 現場打 ○ 塩ビ樹(蓋) ○ 塩ビ ○ T8 ○ その他 (市・町・村・型) ロ、ため樹 ○ コパイノ樹 ○ 角型 ○ 丸型 ○ 市販コンクリート管 ○ 現場打 ○ 塩ビ樹(蓋) ○ 塩ビ ○ T8 ○ その他 (市・町・村・型) ハ、蓋 ○ 鋼鉄製 (○ 耐重 ○ 重量 ○ 軽量) ○ コンクリート製 ○ その他 (市・町・村・型)
▶ 3. 浄化槽設備	イ、方式 ○ 長時間ばっ気 ○ 回転板接触 ○ 接触ばっ気方式 ○ その他 () ロ、形式 ○ 現場施工型 ○ ユニット型 処理対象 ○ 汚水 ○ 雑排水 ○ その他 () 処理水量 (m ³ /日) () 人槽 放流水水質 (BOD ppm) ハ、ブローア設置場所 ○ 機械室内 ○ 浄化槽内 ○ その他 () その他 設置浄化槽型式決定後直ちに施工承諾申請図及び計算書を工事監督員へ提出すること
▶ 4. 清掃消毒	イ、作業方法 ・洗浄吐出圧力70kg/cm ² 、吐出量25~70ℓ/minで清掃 清掃後、消毒剤にて消毒洗浄する ○ 屋内雑排水管 ○ 汚水管 ○ 大便器 ○ 小便器 ○ 洗面器 ○ 掃除流し ○ 事務室流し ○ 厨房流し ○ グリーストラップ ・洗浄吐出圧力70kg/cm ² 、吐出量40~70ℓ/minで清掃 清掃後、消毒剤にて消毒洗浄する ○ 屋外排水管 ○ 排水溝 ・洗浄吐出圧力70kg/cm ² 、吐出量40~70ℓ/minで清掃 ○ ルーフドレン管 ロ、消毒剤 ・次亜塩素酸ナトリウム溶液 濃度 100mg/ℓ 換気ドレン、水抜ドレン、バルコニードレン及び耐火二層管は保温を施さない
▶ 5. その他	

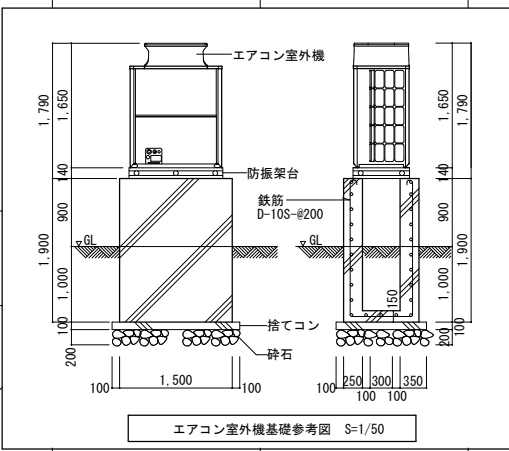
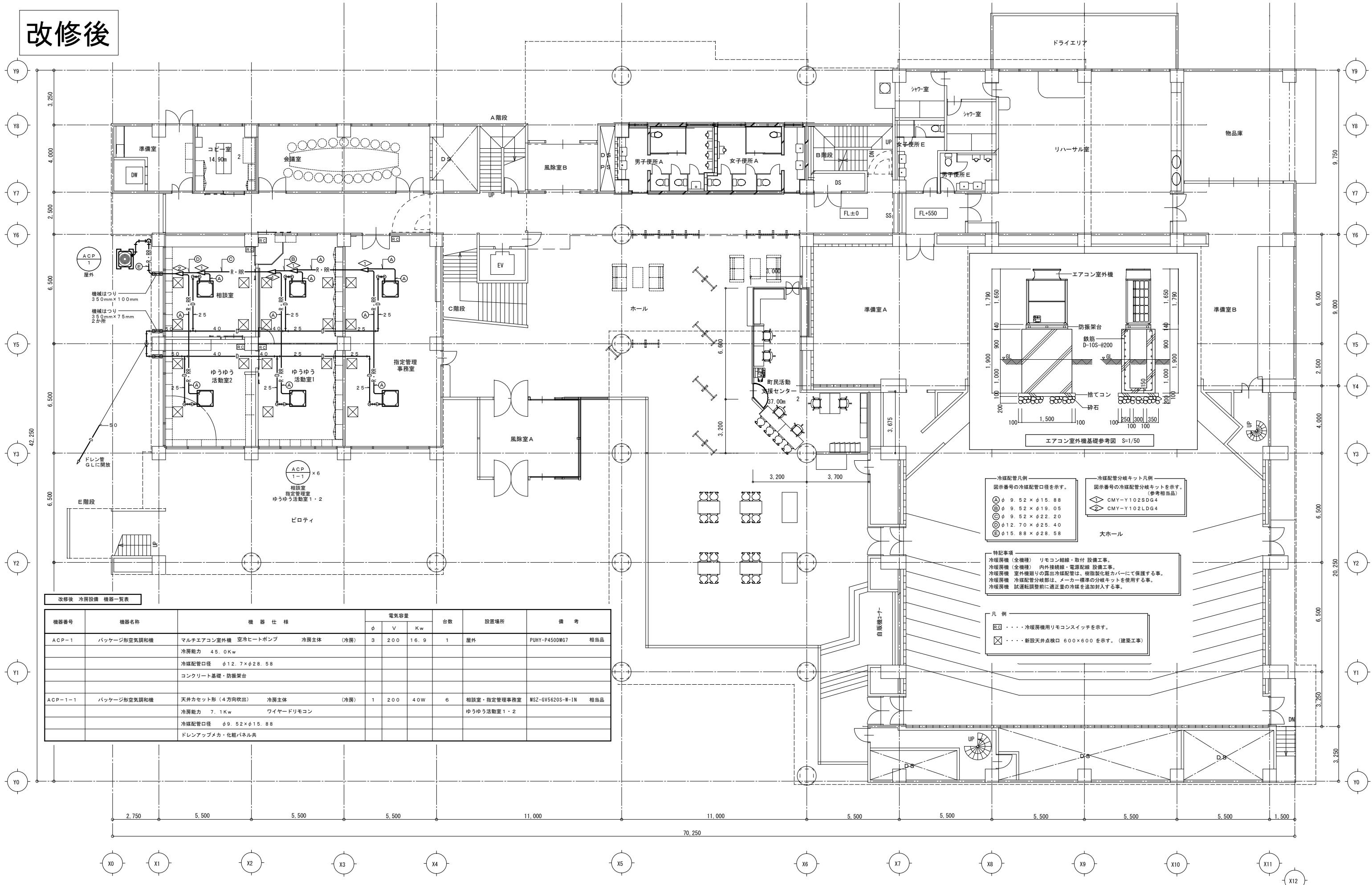
また、アスベストの有害性、取扱上の注意事項、使用すべき保護具の提示を行う なお、提示の種類は、次による ① 吹き付け等露出対象の場合の提示	
建築物等の解体等の作業に関するお知らせ 当現場では、()労働基準監督署へ □ 労働安全衛生法第88条第4項(労働安全衛生規則第90条第5号の2)の規定による計画の届出 □ 石綿障害予防規則第5条第1項の規定による作業の届出 を行っています 届出年月日 令和 年 月 日 作業期間 令和 年 月 日~ 届出内容 令和 年 月 日 (石綿のばく露防止対策及び石綿粉じんの飛散防止対策の内訳) 令和 年 月 日 石綿のばく露防止措置及び石綿粉じんの飛散防止措置の概要: 令和 年 月 日(表示日)	
(氏 名) を石綿作業主任者に選任しています 施工事業者名: 石綿に係る特別教育を受講した者が作業を行っています 現場責任者氏名: 受講した特別教育: ○○の実施した講習(令和 年 月受講) 連絡先: また、北海道知事()へ □ 大気汚染防止法第18条第15項の規定による作業の届出を行っています 届出年月日 令和 年 月 日 届 出 先 届出者住所 届出者氏名	
② 成形板等の届出の必要が無い場合の提示	
建築物等の解体等の作業に関するお知らせ 石綿障害予防規則に基づき、当現場では適切な石綿のばく露防止対策及び石綿粉じんの飛散防止対策を行っています 石綿のばく露防止対策及び石綿粉じんの飛散防止対策の内容 作業期間 令和 年 月 日~ 令和 年 月 日 石綿のばく露防止措置及び石綿粉じんの飛散防止措置の概要: 令和 年 月 日(表示日) (氏 名) を石綿作業主任者に選任しています 施工事業者名: 石綿に係る特別教育を受講した者が作業を行っています 現場責任者氏名: 受講した特別教育: ○○の実施した講習(令和 年 月受講) 連絡先:	
③ アスベスト含有建材を使っていない場合 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ 石綿障害予防規則に基づく石綿の使用の有無の調査を行った結果、当現場では石綿を使用しておりません 調査方法 (調査年月日) 作業期間 令和 年 月 日~ 令和 年 月 日(表示日) 令和 年 月 日 施工事業者名: 現場責任者氏名: 連絡先:	

(4) 保護具・保護衣 除去作業者は、作業内容に応じた呼吸用保護具、保護メガネを使用するとともに、アスベストが付着しにくく、付着したアスベストが容易に除去できる作業衣又は、保護衣を着用する (5) 除去したアスベスト等の保管及び運搬 除去したアスベスト含有建材を搬出するまでの間、現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、他の内装材と分別して保管するものとし、シートで覆う等、飛散防止措置を講ずる また、保管場所には、アスベスト等の保管場所であることの表示を行う (6) 確認及び後片付け 除去作業が終了後、蓄性能真空掃除機で、床等を清掃する また、工事監督員の立命の上で、除去が十分行われていることを目視確認を受ける (1) 処理を行う保建材、耐火被覆板及び断熱材の種類及び除去 種類: _____ 除去: ○ 掻き落とし ○ 破砕 ○ 切断 ○ 作業場の隔離 種類: _____ 除去: ○ 掻き落とし ○ 破砕 ○ 切断 ○ 作業場の隔離	
▶ 3. アスベスト含有保建材等の除去等	
▶ 4. アスベスト含有成形板等の除去等	(1) 処理を行う成形板の種類 種類: _____ 種類: _____

○ その他

項目	特記事項																																																											
▷ 1. 概数等発注	<p>(1) 次に示した数量は概数であり、必要に応じて設計変更するものとする なお、設計に対して過大な出来高数量に変更するものではないことに留意すること</p> <p>(2) この工事においては、設計変更図書の作成（設計変更図面の作成及び工事数量の算出）を受注者に行わせることがある</p> <p>(3) 概数として取り扱っている事項の施工に当たっては、施工前に工事監督員と協議すること なお、数量の確認ができない場合を除き、施工前に数量を確定すること</p> <p>(4) 概数 7. 工事数量総括表細目別内訳又は別紙明細の備考欄に「概数」又は「推」と表示された項目・数量 4. 次の項目・数量</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">設計数量（単位）</th> <th colspan="2">確定数量（単位）</th> </tr> <tr> <th>積込・運搬量</th> <th>処分量</th> <th>積込・運搬量</th> <th>処分量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	区 分	設計数量（単位）		確定数量（単位）		積込・運搬量	処分量	積込・運搬量	処分量																																																		
区 分	設計数量（単位）		確定数量（単位）																																																									
	積込・運搬量	処分量	積込・運搬量	処分量																																																								

改修後



- 冷暖配管凡例**
 図示番号の冷暖配管口径を示す。
 (A) φ 9.52 × φ 15.88
 (B) φ 9.52 × φ 19.05
 (C) φ 9.52 × φ 22.20
 (D) φ 12.70 × φ 25.40
 (E) φ 15.88 × φ 28.58
- 冷暖配管分岐キット凡例**
 図示番号の冷暖配管分岐キットを示す。
 (参考相当品)
 (A) CMY-Y102SDG4
 (B) CMY-Y102LDG4
- 大ホール**
- 特記事項**
 冷暖房機 (全機種) リモコン結線・取付 設備工事。
 冷暖房機 (全機種) 内外接続線・電源配線 設備工事。
 冷暖房機 室外機周りの露出冷暖配管は、樹脂製化粧カバーにて保護する事。
 冷暖房機 冷暖配管分岐部は、メーカー標準の分岐キットを使用する事。
 冷暖房機 試運転調整前に適量の冷媒を追加する事。
- 凡例**
 □ 冷暖房機用リモコンスイッチを示す。
 ⊗ 新設天井点検口 600×600 を示す。(建築工事)

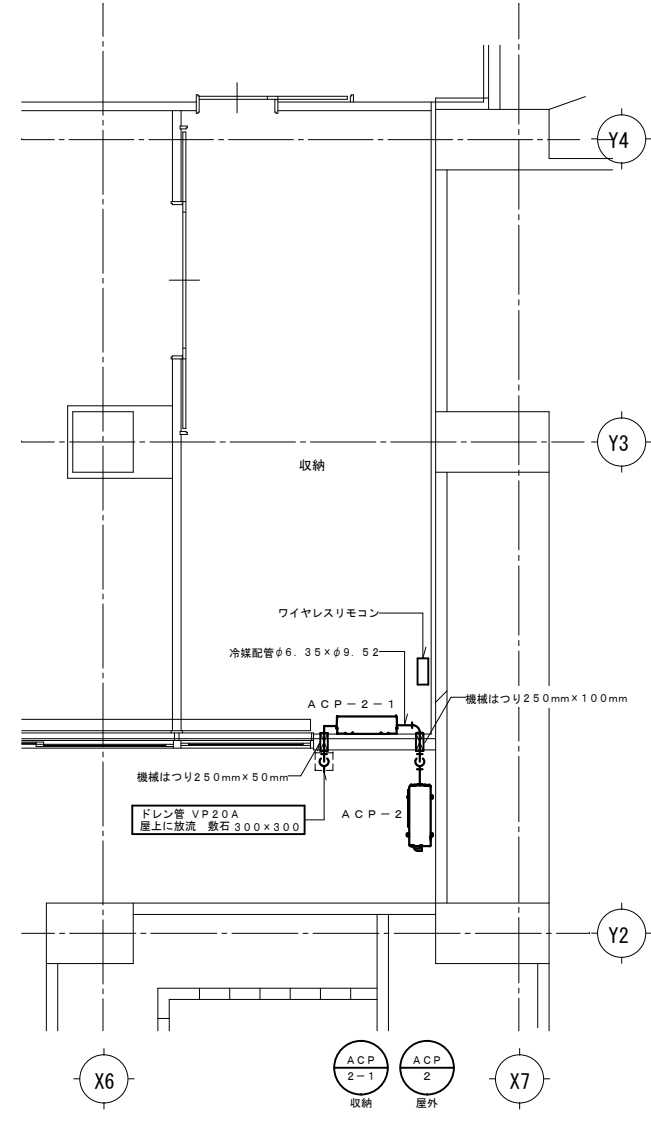
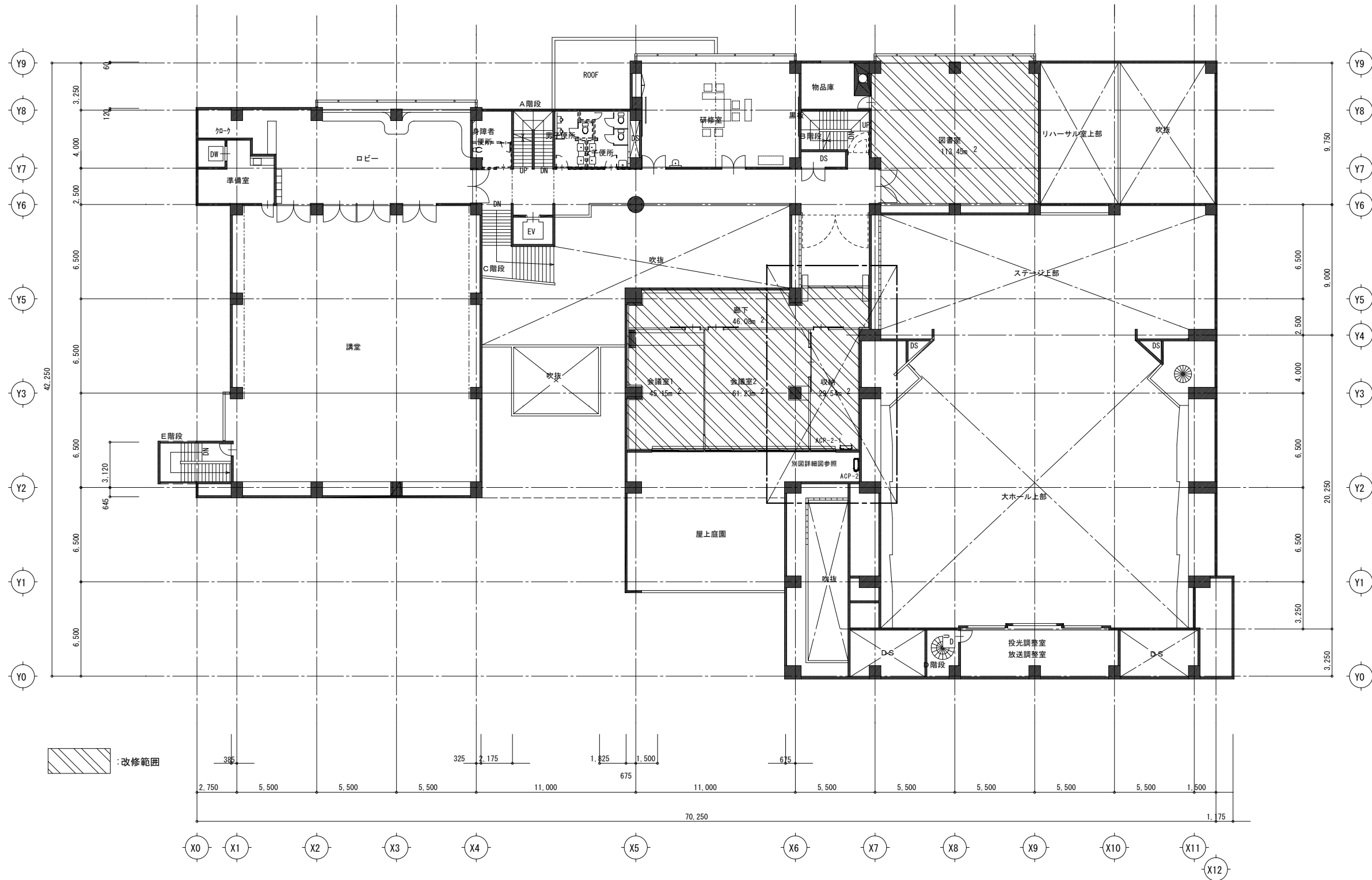
改修後 冷暖房設備 機器一覧表

機器番号	機器名称	機器仕様	電気容量			台数	設置場所	備考
			φ	V	Kw			
ACP-1	パッケージ形空調和機	マルチエアコン室外機 空冷ヒートポンプ 冷房主体 (冷房)	3	200	16.9	1	屋外	PUHY-P4500M7 相当品
		冷房能力 45.0Kw						
		冷暖配管口径 φ12.7×φ28.58						
		コンクリート基礎・防振架台						
ACP-1-1	パッケージ形空調和機	天井カセット形 (4方向吹出) 冷房主体 (冷房)	1	200	4.0W	6	相談室・指定管理事務室	MSZ-GV5620S-W-IN 相当品
		冷房能力 7.1Kw						
		冷暖配管口径 φ9.52×φ15.88						
		ドレンアップメカ・化粧パネル共						

改修後

改修後 冷房設備 機器一覧表

機器番号	機器名称	機器仕様	電気容量			台数	設置場所	備考
			φ	V	Kw			
ACP-2	パッケージ形空気調和機	シングル形室外機 空冷ヒートポンプ 冷房主体 (冷房)	1	200	2.38	1	屋外	MSZ-GV5620S-W セット相当品
		冷房能力 5.6 Kw						MUCZ-G5620S 相当品
		冷媒配管口径 φ6.35×φ9.52						
		壁取付架台 (亜鉛メッキ仕様)・防振ゴム共						
ACP-2-1	パッケージ形空気調和機	壁掛形室内機 冷房主体 (冷房)	1	200	4.0W	1	収納	MSZ-GV5620S-W-IN 相当品
		冷房能力 5.6 Kw						
		冷媒配管口径 φ6.35×φ9.52						
		ワイヤレスリモコン						



収納 冷房設備平面詳細図 S=1/50

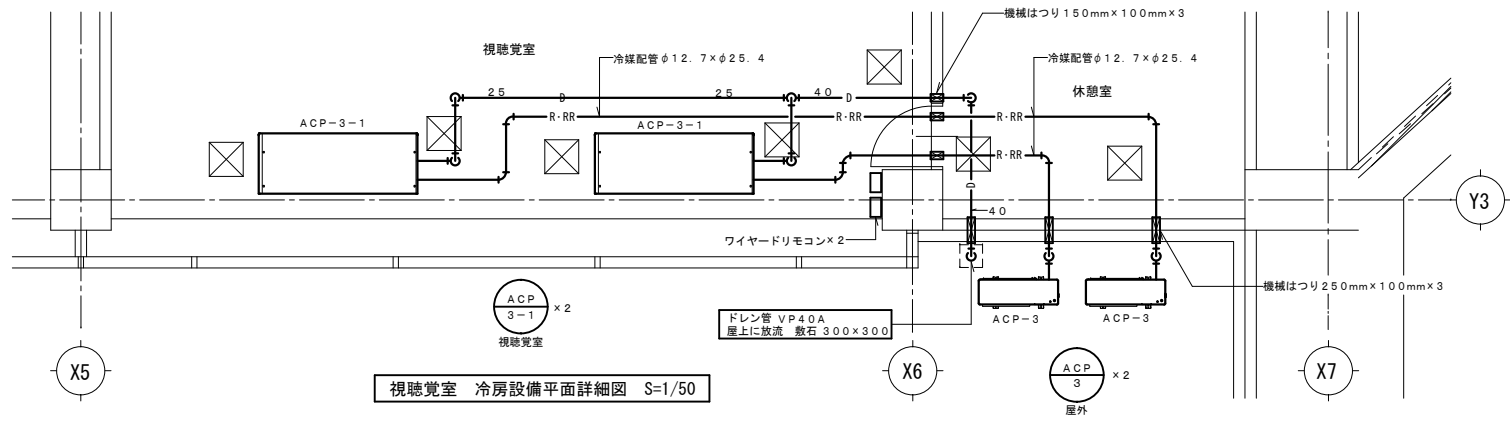
特記事項
 冷房機 (全機種) 内外接続線・電源配線 設備工事。
 冷房機 室外機廻りの露出冷媒配管は、樹脂製化粧カバーにて保護する事。
 冷房機 試運転調整前に適正量の冷媒を追加封入する事。



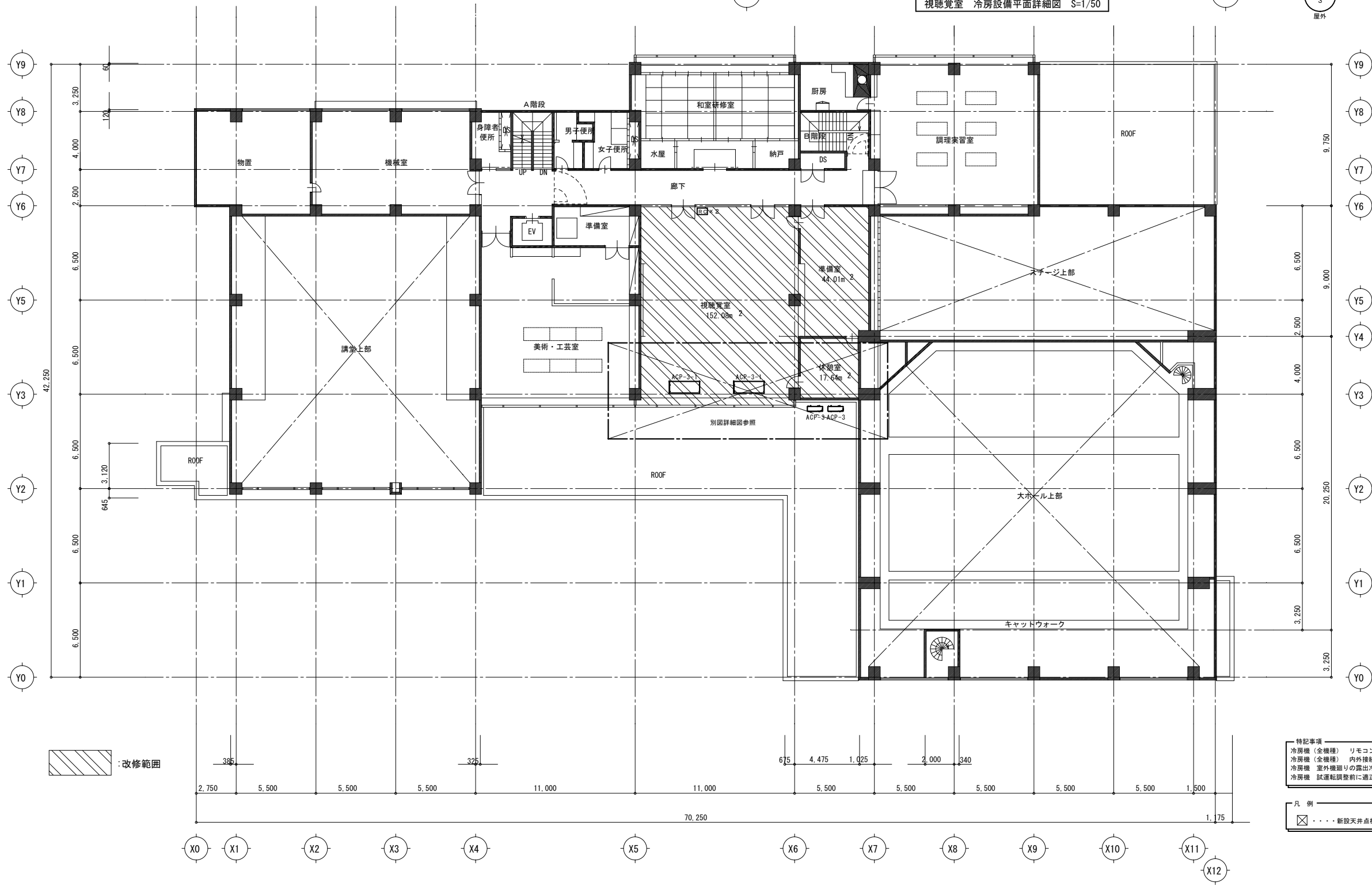
改修後

改修後 冷房設備 機器一覧表

機器番号	機器名称	機器仕様	電気容量			台数	設置場所	備考
			φ	V	Kw			
ACP-3	パッケージ形空調和機	シングル形室外機 空冷ヒートポンプ 冷房主体 (冷房)	3	200	10.9	2	屋外	PUZ-ERP280KA13 相当品
		冷房能力 25.0Kw						
		冷媒配管口径 φ12.7×φ25.4						
ACP-3-1	パッケージ形空調和機	天井吊露出形室内機 冷房主体 (冷房)	1	200	4.0W	2	視聴覚室	PC-RP280BA16 相当品
		冷房能力 25.0Kw						
		冷媒配管口径 φ12.7×φ25.4						



視聴覚室 冷房設備平面詳細図 S-1/50

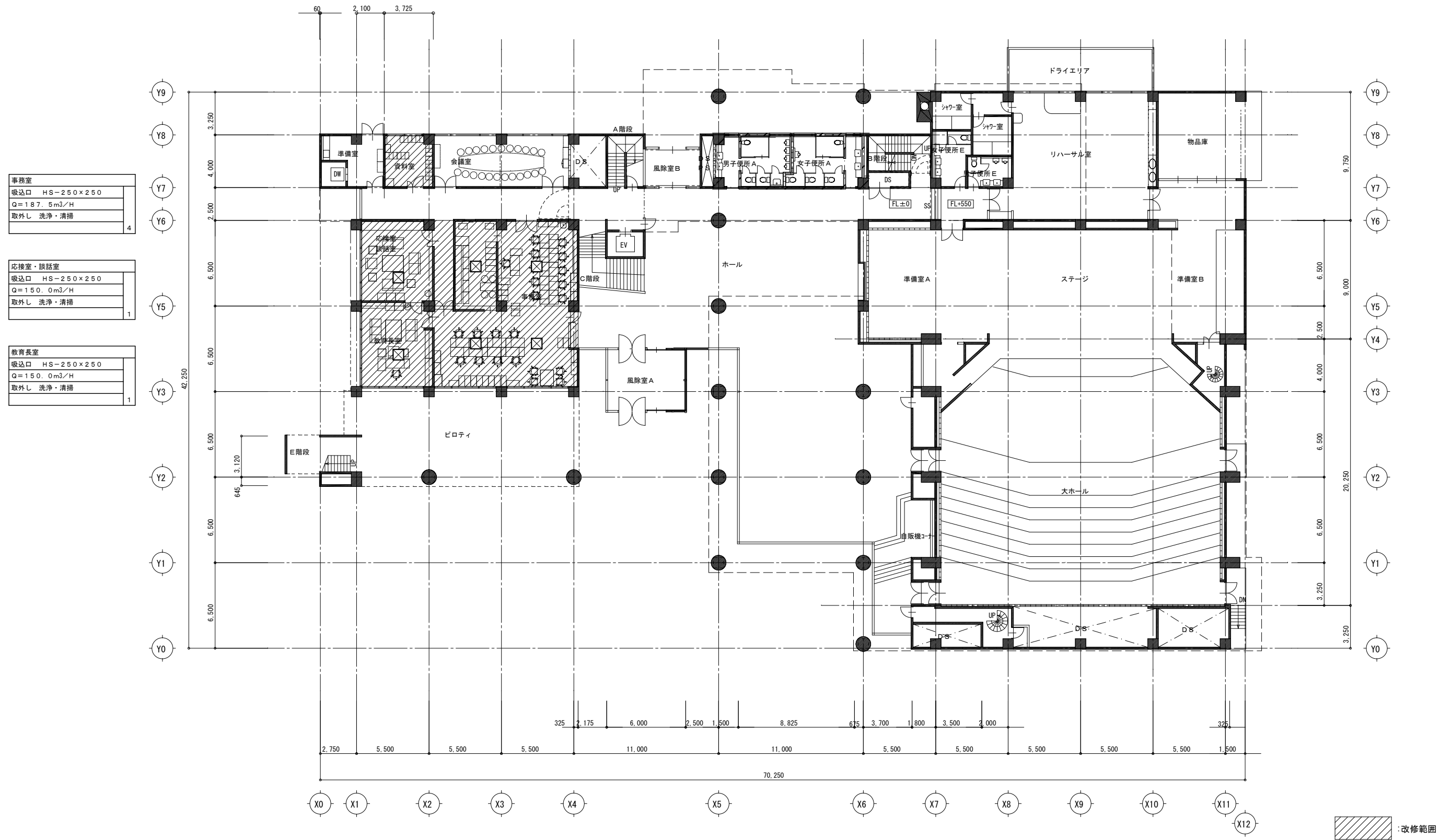


: 改修範囲

特記事項
 冷房機 (全機種) リモコン結線・取付 設備工事。
 冷房機 (全機種) 内外接続線・電源配線 設備工事。
 冷房機 室外機廻りの露出冷媒配管は、樹脂製化粧カバーにて保護する事。
 冷房機 試運転調整前に適正量の冷媒を追加する事。

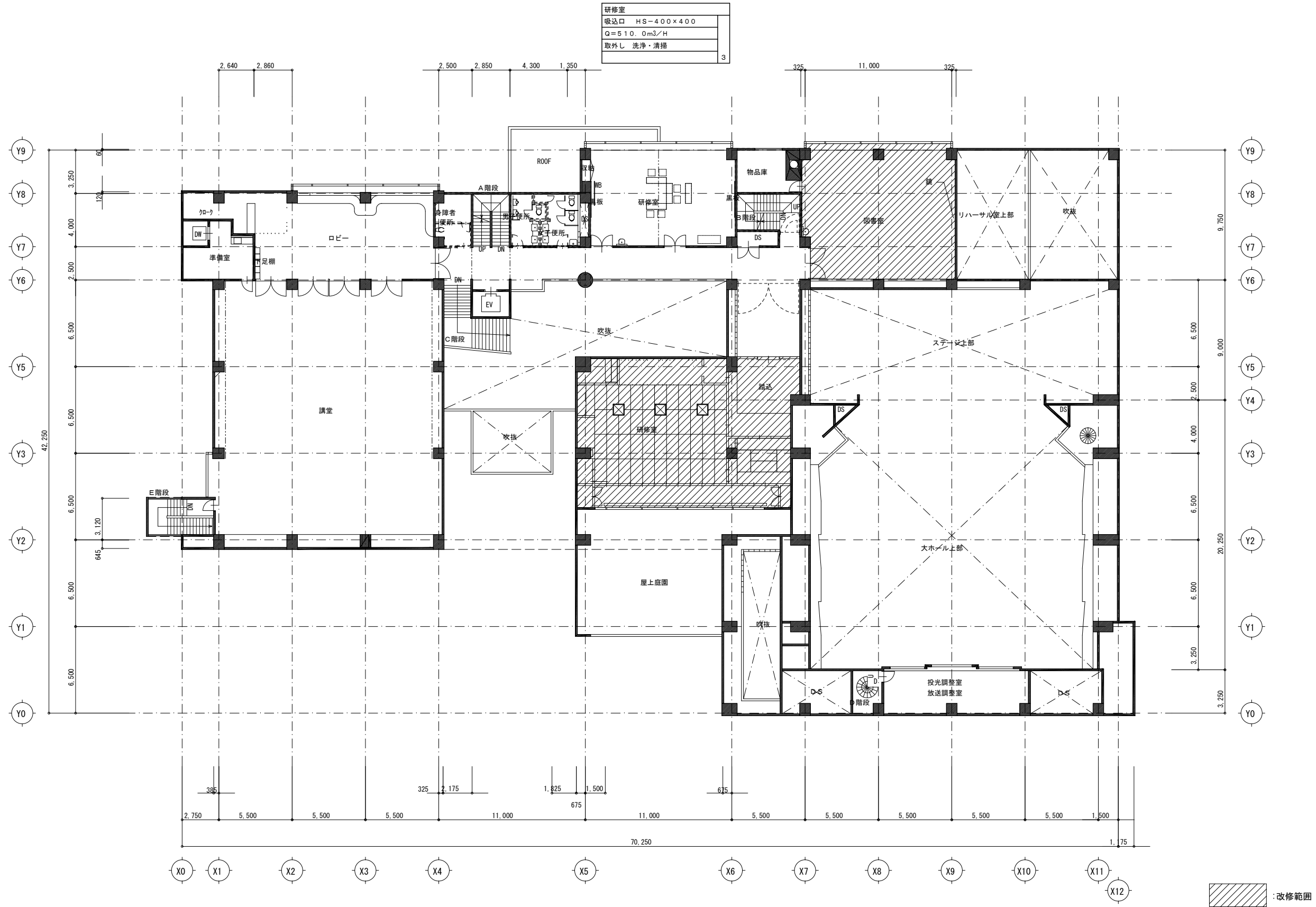
凡例
 : 新設天井点検口 450×450 を示す。(建築工事)

改修前



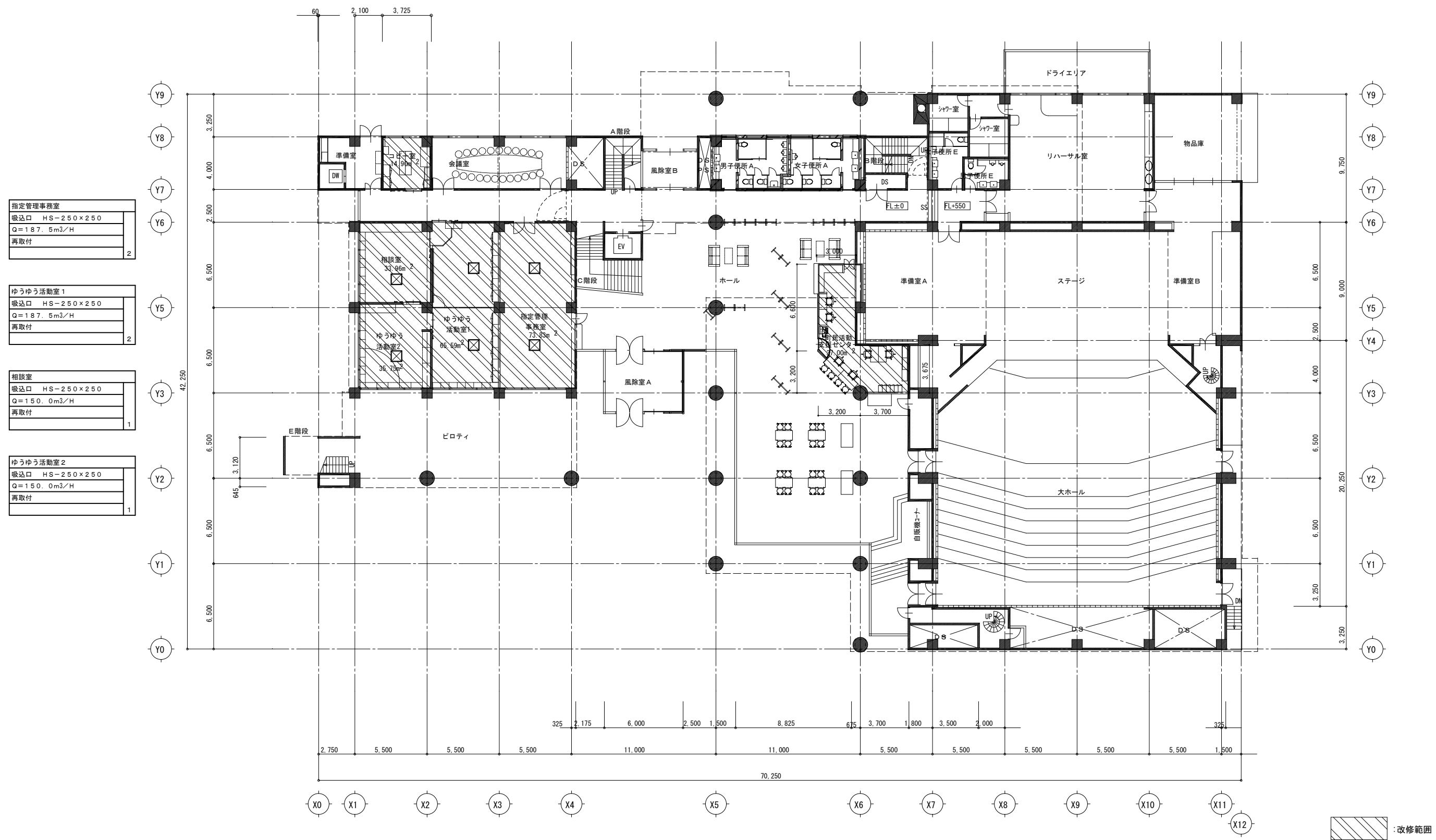
記事	帯広市公園東町1丁目6番地		設計年月日	2020.12.		工事名称	芽室町中央公民館内部改修工事		総数
	TEL 0155-24-7668 FAX 0155-21-6603		一級建築士事務所登録(+)第73号 一級建築士登録第216909号 太田 豊	査閲	校正	担当	図面名称	既存換気設備 1階平面図	縮尺 A1 1/150 A3 1/300

改修前



<p>記事</p>	 <p>盤創造設計舎</p>	<p>帯広市公園東町1丁目6番地1 TEL 0155-24-7668 FAX 0155-21-6603</p>	<p>一級建築士事務所登録(+)第73号 一級建築士登録第216909号 太田 豊</p>	<p>設計年月日 2020.12.</p>	<p>工事名称 茅室町中央公民館内部改修工事</p>	<p>総数</p>	
				<p>査閲 校正 担当</p>	<p>図面名称 既存換気設備 2階平面図</p>	<p>縮尺 A1 1/150 A3 1/300</p>	<p>図面番号 M-05</p>

改修後



指定管理事務室
吸込口 HS-250×250
Q=187.5m ³ /H
再取付
2

ゆうゆう活動室1
吸込口 HS-250×250
Q=187.5m ³ /H
再取付
2

相談室
吸込口 HS-250×250
Q=150.0m ³ /H
再取付
1

ゆうゆう活動室2
吸込口 HS-250×250
Q=150.0m ³ /H
再取付
1

: 改修範囲

記事



帯広市公園東町1丁目6番地
 TEL 0155-24-7668
 FAX 0155-21-6603

一級建築士事務所登録(+)第73号
 一級建築士登録第216909号
 太田 豊

設計年月日 2020.12.
 査閲 校正 担当

工事名称 茅室町中央公民館内部改修工事
 図面名称 改修後換気設備 1階平面図

総数
 縮尺 A1 1/150
 A3 1/300
 図面番号 M-06

改修後

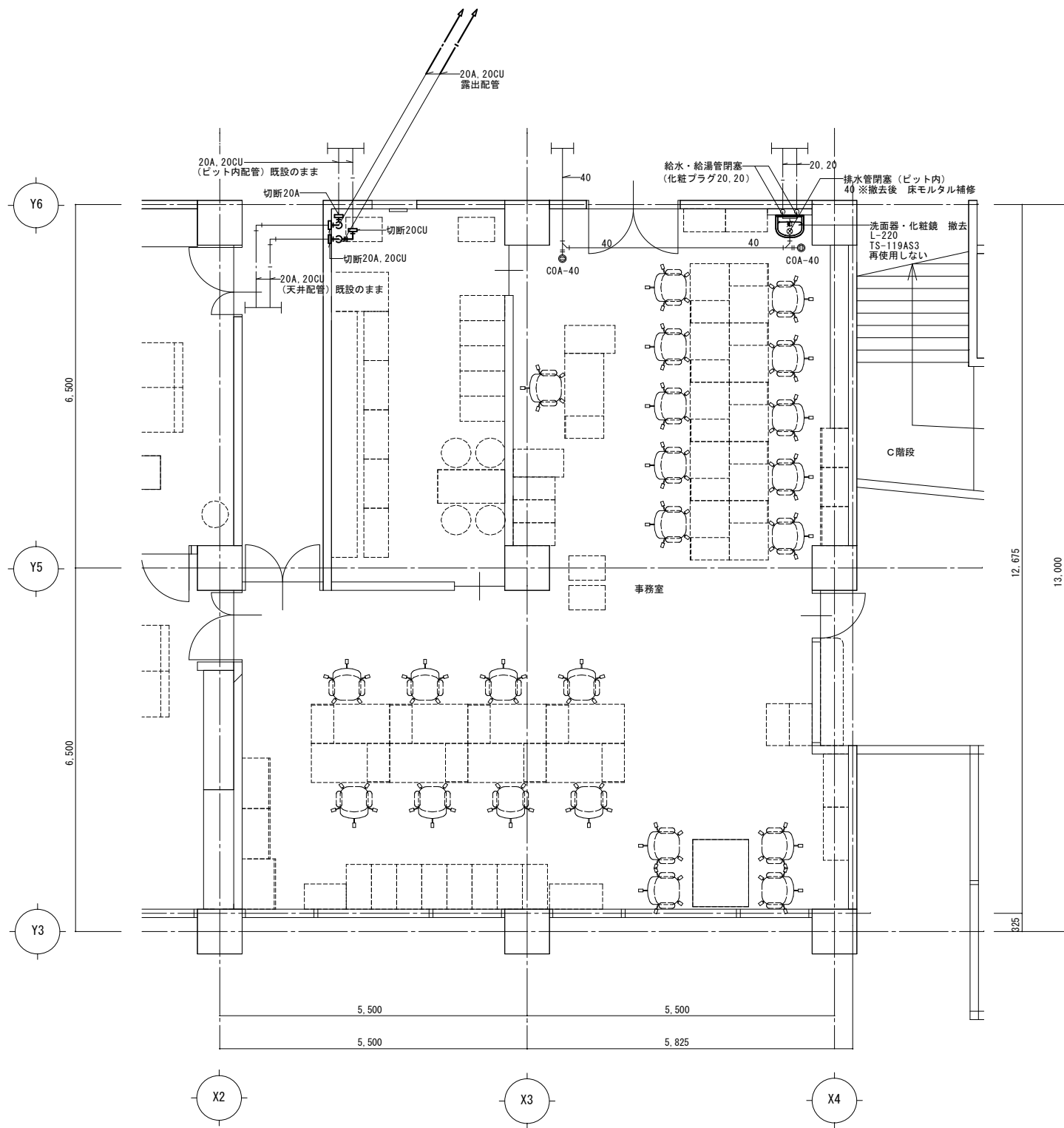
会議室 1	会議室 2
吸込口 HS-400×400	吸込口 HS-400×400
Q=510.0m ³ /H	Q=510.0m ³ /H
再取付	再取付
1	2



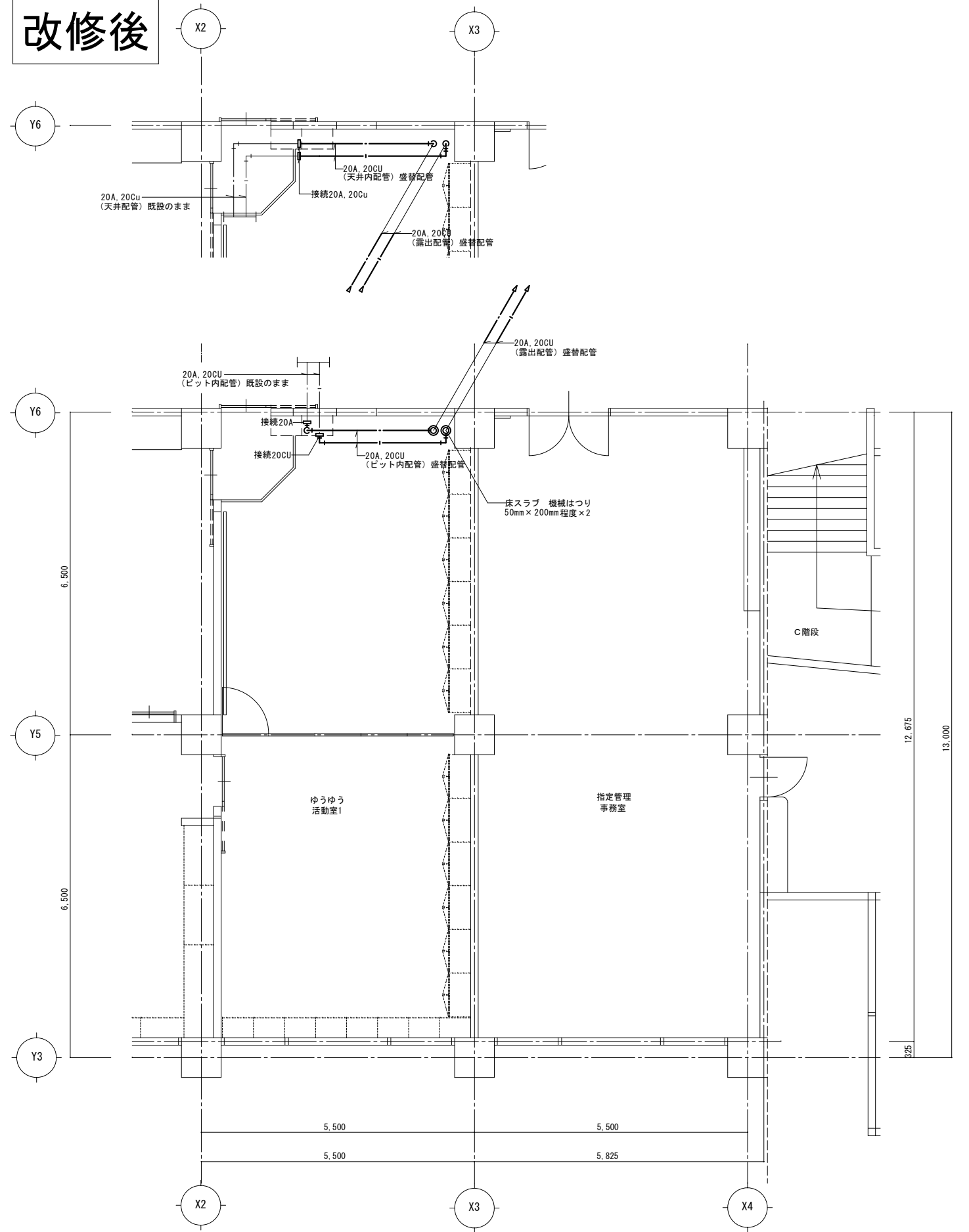
: 改修範囲

記事		帯広市公園東町1丁目6番地1 TEL 0155-24-7668 FAX 0155-21-6603	一級建築士事務所登録(+)第73号 一級建築士登録第216909号 太田 豊	設計年月日	2020.12.	工事名称	茅室町中央公民館内部改修工事	総数
				査閲 校正 担当		図面名称 改修後換気設備 2階平面図	縮尺 A1 1/150 A3 1/300	図面 番号 M-07

改修前



改修後



記事	



帯広市公園東町1丁目6番地
 TEL 0155-24-7668
 FAX 0155-21-6603

一級建築士事務所登録(+) 第73号
 一級建築士登録第216909号
 太田 豊

設計年月日	2020.12.		
査閲	校正	担当	

工事名称	芽室町中央公民館内部改修工事		
図面名称	改修前・改修後 衛生設備1階平面図	縮尺	図番
		A1 1/50 A3 1/100	M-08

総数